

地域社会と共に創る 山形県コロニー協会広報誌

Autumn

2014.10

No.16

コロニーやまがた



▲ 親睦会サクランボ狩り（6月27日 東根市）

INDEX

02



放課後等デイサービス シード開設
任期満了に伴う役員改選

03



山形福祉工場の話題から
土屋和夫さん退職

04



新従業員からメッセージ
初夏の味を満喫

08



社会福祉法人山形県コロニー協会
平成26年度 事業計画
平成25年度 事業報告／監査報告書

10



資金収支計算書／貸借対照表

12



職員・利用者の動き（平成26年2月～9月）

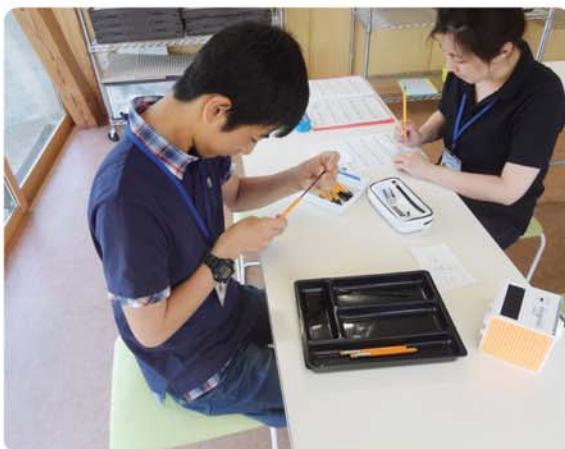
COLONY
YAMAGATA

毎日が初めて

放課後等デイサービス シード開設

シード開設

支援員 手塚綾佳



4月に山形コロニー放課後等デイサービス シードが開設して、早半年が経とうとしています。シードは、これまで築いてきた就労支援のノウハウやネットワークを活かし、職業準備早期支援を目的とした活動が大きな特徴です。

具体的には、①あいさつの仕方、②指示に従つて行動する、③時間を守る、④報告や質問を自分からするなどです。これらを日々の作業を通じて行っています。

夏休み期間中は生活面にも焦点を当て、昼食の配膳や炊飯、洗濯も皆さんに行ってもらいました。

初めての経験だった方も多く、「家でもやってみました」という報告があつた時はこちらまで嬉しくなりました。

シードのモットーは「やったことがないことにチャレンジする!」「失敗もわからないも恥ずかしくない!」「困ったときがチャンス!」

シードの活動自体初めてなのだから、できなくて当たり前。じゃあどうしたらできるようになるだろう? と一緒に考えて実行していくことこそ醍醐味なのです。

……と、カッコイイことを言つて

みたものの、スタッフも児童分野は初の試み。毎日が初めての経験です。スタッフ自身がシードのモットー

を実践していると言つても過言ではありません。わからぬことばかりではあります。ですが、皆様のお知恵とお力を拝借りてシードも成長していきたいと思つております。今後ともよろしくお願いいたします。

◆給食(昼食)の準備も

任期満了に伴う
役員改選

平成26年5月24日の第41回

評議員会において、任期満了に伴う理事の選任及び監事の選任が行なわれました。その後、第21回理事会において会長副会長・常務理事の互選が行なわれ、左記のとおり選任されました。任期は、平成26年5月29日から平成28年5月28日までとなります。(全員再任)

社会福祉法人
山形県コロニー協会

監事	監理	理	理	理	副会長	会長
事	事	事	事	事	高橋	櫻田俊郎
伊	結	永	澤	川	吉田	前田
藤	城				孝寿	須貝寿一
善	徳				仙孝	宰志
吉	昭	孝	壽	子	壽	志

山形福祉工場の話題から

CTP更新

A型事業部 山口和敏

初めて CTP (T6000) を担当させてもらってから10年ぐらいなるでしょうか。

そして今年6月に2代目 (T6300) が導入されました。

簡単に説明すると印刷機にかかる版作りです。アルミ板にレーザー露光し現像・水洗・ガムで保護され出力するマシンです。



◆ CTPとは

コンピュータ・トウ・プレートの略で、印刷機にかける印刷の版を出力する機械。山形コロニーでは平成15年度に導入しました。

お疲れさまでした

福祉工場創設以来の従業員

土屋 和夫さん退職

A型事業部

佐藤 清

去る7月26日に土屋和夫さんの定年退職送別会がありました。その日の晴れやかな土屋さんの表情を見ていて、一緒に働いてきた30年が終わつたことを実感しました。

私が工場に入った当時、土屋さんは私の同じ部署の先輩として刷版(当時はアナログ)を担当していました。本人独特の考え方方は当時からで、むずかしい人という印象を持つ人も多かつたが、自分の職務に関して自信を持ち、「これに関しては俺が」という気持ちと、自信は休憩時間にたばこを吸う姿などにも感じさせるものでした。

しかし、20年後に CTPによるアナログ刷版が不要となり、また、自立支援法の成立・子供の成人と環境の変化で、土屋さんのたばこを吸う姿もなくなりました。それ

でも新たな職務に、土屋さんなりの工夫を持って積極的に取り組んでいたように思われます。また、やりきったという達成感がこの日の表情にあつたのだと思えました。今後の新たな人生にも、創意工夫をもって歩んでいかれるだろうと思います。最後に、私をひっぱってくれた(叱咤激励)ことに感謝します。



パレスグランデールにて

新従業員からメッセージ

平成26年度は、4月以降A型利用を含む9人の採用がありました。新卒から中堅・ベテランまで、コロニーの新しい戦力の皆さんに、それぞれ、抱負や近況について書いてもらいました。

■相談支援センター

予感



早坂 牧子

変われば思いも変わる、と言う事を実感させられた五ヶ月間でした。人は理不尽な現実や大きな困難に立ち向かい、前に進むために何を必要とするのか。そんな事を考えながら、最近は改めて難しい仕事に就いたものだと身を引き締める毎日です。

私の周りには導いてくれる人では全く無責任なもつともらい正論を信じてきました。ところが、こちらの「相談支援センター」に配属になつてからということが湧いてくるようになります。多くの、私の中で以前とは違った思ひが湧いてくるようになります。多くの人に出会い、研修に参加する中で、時に後ろから頭をガツンと叩かれる思いをする事がよくあります。立場や境遇が

世界中で起きている戦争や事故を耳にするにつけ、今まで全く無責任なもつともらい正論を信じてきました。ところが、こちらの「相談支援センター」に配属になつてからといふ今年の四月より就労サポートセンターで勤務させていただくようになり半年が経とうとしています。

私は、これまで様々なニーズを持つた方々の職業相談に携わり、前職では、知的障がい者の就労支援コーディネーターの仕事を2年間でしたが、させていただきました。

人生経験としては、長いのですが初めての障がい者福祉施設の勤務ですので、(障がい者支援)の基礎や、その人に適した支援方法など、沢山の事を学ばさせていただいています。

就労サポートセンターには、多様な障がいを持つた方が、ご自分の障がいの特性と向かい合い、それが目標を持ち日々活動

■就労サポートセンター

共に歩む



城戸口陽子

今年の四月より就労サポートセンターで勤務させていただくようになり半年が経とうとしています。

私は、これまで様々なニーズを持つた方々の職業相談に携わり、前職では、知的障がい者の就労支援コーディネーターの仕事を2年間でしたが、させていただきました。

人生経験としては、長いのですが初めての障がい者福祉施設の勤務ですので、(障がい者支援)の基礎や、その人に適した支援方法など、沢山の事を学ばさせていただいています。

早く一人前に

山田 成実



今の自分が感じていることを素直に書きたいと思います。コロニーでお世話になつてから半年が経とうとしています。就

しています。

自分の障がいの特性や他の利用者との関係で悩んだり不安や、心配事など様々お持ちのようです。そんな時は、いつでも相談いただけるような信頼関係を築いていけるよう努力していきたいと思います。

どのような障がいや能力の偏りが有つても、その人なりの社会参加があり、その人なりの「働き方」が有ると信じ、日々の活動と共に歩んでいきたいと考えています。

私も周囲の人達に支えられている事に感謝し、精一杯努力していきたいと思いますので、今後共よろしくお願ひします。



労サポートで働かせていただいておりますが、毎日自分自身と向き合っている感覚を覚えます。

支援者として、「なぜ?」「どうして?」の視点が大切だと教えていただいておりますが、現場で利用者の方を目の前にして、今までの自分は物事に対しても「なぜ?」「どうして?」と深く追求することをあまりしていませんでした。

また、物事をわかりやすく簡潔に話すことにもともと苦手意識はあったのですが、やはり自分は説明が下手だと痛感する場面が多いです。

支援を通して、これまでの自分を振り返るとともに、自分自身の新たな気付きへと結びついでいると感じます。自分自身と向き合っているからこそ辛くなる時もありますが、自己覚知を進めるためにも、私はとても貴重な体験をさせてもらっています。

まだまだ支援者としても社会人としても半人前ですが、皆

さんからたくさん吸収して、少しでもはやく一人前になつて力になれるようにしたいです。今後とも宜しくお願ひ致します。



私の出会い

佐藤 明美

私がこれまで、ご縁があり出会った方々のことを振り返り考えてみた時、様々なタイミングで、出会うべくして会うことができたのではないかと、出会った方々に感謝し、日々の生活を送っているところです。

これからも、様々な出会いを楽しみにし、出会い系によって自分自身が出来るよう、皆様との繋がりを大切にしていきたいと考えております。

会った上司の存在です。不安で仕方なく、まるで浦島太郎のようになついた私を、温かく見守つて下さり、自信をつけさせて頂き、その方のご指導があつたからこそ、今も様々な場所で仕事が出来ているのだと思ってるところです。

その他、都度勇気を貰える方々との出会いも多々あり、現在も交流させて頂いています。

以前は、仙台の病院で相談員として働いていましたが、埼玉では福祉関係の仕事ではなく、事務員として働いていました。今回、福祉職に戻つてきましたが、わからないことばかりで、職員の方をはじめ、就労サポートセンターの利用者さんにもたくさん助けていただき、みなさんの優しさに支えられながら学ばせていただく毎日が続いています。研修会等にも参加させていただき、山形コロニーの地域とのつながりや、他事業所や他機関との関係性の深さを感じています。私も人との関わりを大事に、一日一日を大切に働きたいと思いますので、これからもよろしくお願ひいたします。



おいしい山形

佐々木美由紀

まずは、幼少期に育つた環境から広い社会へと飛び込む際、様々な環境で生活された友人達から、刺激を受け、視野が狭かつた自分の考え方を広げもらうことがあります。だから始まり、その友人達と悩みを分かち合つたり、励まし合つたりしながら、いろいろな事を乗り越えてきましたように感じています。

次に、仕事復帰をする際、出

夏は猛暑でぐつたりすることもありましたが、あつという間に秋を迎えようとしています。

仙台の出身ですが、山形に来る前は、約3年間埼玉県で暮らしていました。山形についてまだまだ知らないことが多くあります、食の魅力、食べ物や水のおいしさを実感しています。

以前は、仙台の病院で相談員として働いていましたが、埼玉では福祉関係の仕事ではなく、事務員として働いていました。今回、福祉職に戻つてきましたが、わからないことばかりで、職員の方をはじめ、就労サポートセンターの利用者さんにもたくさん助けていただき、みなさんの優しさに支えられながら学ばせていただく毎日が続いています。研修会等にも参加させていただき、山形コロニーの地域とのつながりや、他事業所や他機関との関係性の深さを感じています。私も人との関わりを大事に、一日一日を大切に働きたいと思いますので、これからもよろしくお願ひいたします。

■放課後等デイサービスシード

初めての夏休み



會田 雅江

み出せた様に感じる夏休みでした。私自身はと言うと、早とちりと置き忘れが得意で、体力だけは自信あります。シードの児童達のお手本と言えども、毎日一緒に成長させて貰っている感じです。

私がこちらでお世話になつて、三ヶ月が過ぎます。まず目標を三日、そして二週間と思つていて内に、駆足で過ぎました。

この夏、放課後等デイサービスとして、「シード」も「私」も初めての夏休みを迎えました。

米研ぎに始まつて、昼食の用意、片付け、午後は洗濯と、自分が日常当たり前にしている事を、皆で活動しました。バスや電車を初めて利用した児童もいて、探偵のように遠くから見守りに行つたり、三年生は職場見学や、ハローワークに行って来ました。



■事務局

医務室の一 日



佐藤美栄子

をする為、医務室にこもつています。週の後半、健康チェック以外の業務（健診や実習対象者のリスト作成や、各健診項目の有病者の集計などのデスクワークや必要時、病院の付き添い等もあります）

現在、10時から15時までの勤務時間で、皆様にご不便をおかけしています。不在にしていることが多いので、簡単に医務室の一日及び一週間の流れをお知らせします。

出勤してから、まずは事務局のミーティングがあります。その後、看護業務開始。

週の前半は、各部所に伺つたり、医務室に来ていただいたらしくて、健康チェックをしています。なので、午前中はほとんど医務室に居ません。

（看護師）

SOと将来の自分



アディカリ玲音

毎日色んな事があり、うまく出来た日ばかりではないけど、自分も含めて、皆が、何か一步踏み出しました。

午後からは自分が行つた記録

私は、スペシャルオリンピックスバスケットボールチームに所属しています。スペシャルオリンピックスと言うのは、知的障害者にスポーツさせるために作られた

スポーツです。

私がスペシャルオリンピックスのバスケットボールチームに所属したきっかけとなつたのは、高校1年生の時に、学校にスペシャルオリンピックスバスケットボールチームの部員募集のプリントが配られたことがきっかけでした。あまりバスケットボールがうまくなかつたので、これを機会にうまくなりたいと思いバスケットボールチームに入部しました。

そして、高校一年生の時に全国大会に出場しました。山形代表で3位という成績をおさめることが出来ました。

今年福岡で大会があります。今までの練習の成果を出し切つて頑張りたいと思います。

私は、将来自立したいと考えています。自立するためには、自分が何をしなければならないのかを考えなければならぬと思いました。

今は、まだ自立するためには、何が必要なのか分からぬことがあります。ですがこれから自立する

ために自分がしなければいけないことを考えていきたいと思います。

まだまだ自分に足りないことが分からぬことがあります。足りないことは、自分で直せるよう努力する。分からぬことは、どんどん聞いていけるよう頑張っていきたいと思います。

(厨房係)

新人として

鈴木 隼人



8月から採用になりました鈴木隼人と申します。支援を行って頑張りたいと思います。うにあたつて日々手探りの状態ですが、相手への配慮を忘れず、丁寧な支援ができるよう一つ一つ吸収していくこうと思います。また、良い支援を行えるよう専門性を高める自己研鑽と謙虚な姿勢を常に意識したいと思いま

す。

自分の好きな言葉に「人は出

会いで変わる」という言葉があります。高校時代にお世話になつた方に、出会いの大切さを教えていただきました。新しい挑戦や環境に飛び込むのは緊張しますが、それ以上に人の繋がりや経験が、自分にとってプラスになると感じます。

新人らしく、なんでもやってみる精神でたくさんの挑戦を続けたいです。そして、周りの人においてもプラスの影響を与えられる人になれるよう、日々精進したいです。

また、日々の業務にあたる為に社会人の基礎となる健康管理と時間管理を、しっかりと実行するよう努力を重ねていきます。

最後に、一日でも早く皆さんの顔と名前を覚えられるよう意識し、少しでもお役に立てるよう広い視野を持つて仕事をしていきたいと思います。よろしくお願いします。

初夏の味を満喫

(表紙)

コロニー協会従業員で組織する親睦会は、毎年各部署から役員を選出し、様々な行事を行なっています。今年の第一回のイベントは、観光さくらんぼ園でのさくらんぼ狩りとなりました。

果樹王国やまがたを代表するさくらんぼですが、「さくらんぼ狩り」は初めての人もいました。

当日は、食べ放題ということもあり、王道の「佐藤錦」はもちろん、あらゆる種類のさくらんぼを食べまくりました。

事業が増えて横の連携が取りにくくなっている中、文字通り従業員同士親睦を深める良い機会となりました。



社会福祉法人山形県コロニー協会 平成26年度事業計画

国連「障害者の権利に関する条約」の日本における批准について、昨年12月に参議院本会議において承認され、条約の批准が完了した。平成18年に国連総会で採択されてから7年を要したことになる。その間、関係する国内法の整備がなされた。今後は、障害者権利条約に盛込まれている様々な権利の実体化に向けて、関係国内法の施行がなされることになる。

平成23年度に成立した改正障害者基本法で義務化されている障害者基本計画は昨年9月によく閣議決定され開始し、初めて数値目標が出された。その中では、障害者の地域自立生活、一般就労移行が強く目的化されている。

当法人においても、そうした障害者施策に沿った法人経営及び事業運営をすすめることが必要である。

当法人では、昨年度に障害者施策

の目的にあわせ組織を地域生活支援部（相談支援、居宅支援）地域就労支援部（就労移行支援）、就労継続支援A型事業部、就労継続支援B型事業業の充実のため職員の専任体制を図る。

新規利用希望者のなかでは支援の機能を薄め、就労訓練要素を主体とした事業とする。

地域生活支援では、計画相談の対象者の拡大。居宅支援においては新たなグループホームの増設と新設のアプローチを行う。地域就労支援では、年々利用希望が増加し、精神障害者（発達障害）が高比率となつてることから、職員の職業リハビリテーション技術の向上に努め、利用者の一般就労移行支援を行う。

一方、コンプライアンスの重要性は非常に高まっている。昨年より法人の業務管理責任者を配置し業務管理強化に取り組んでいるが、今年度はコンプライアンスに関する研修会（特に虐待）を実施し、その強化に努める。

現在、就労移行支援事業の利用期間は原則2年間となつていて、利用者の職場実習が可能となるまで2年間では無理な状況である。そのため、早い段階での支援が必要であることから、特別支援学校（高等部、中等部）の生徒を対象とした「放課後等デイサービス事業」を開始する。従来の預かり

障害者自立支援法の施行以来、新規利用希望者のなかでは支援の難しい障害をもつケース、特に精神障害者の新規利用が増加しており、職員の支援技術の専門性がより求められている。現場での直接支援技術の外に、ソーシャルワーク能力の向上も必須となつていて、今年度も必須となつていて、今年度は、職員の研修教育体制の確立をめざす。

予定であったが、業者事情により今年度実施となつた。耐震診断結果を受けて今後の対応の検討に入る。

昨年12月に開催された内閣府の改革会議において現在の社会福祉法人の在り方について論点整理がなされ、その中で、社会福祉法人としての地域のセフティーネット機能、地域福祉貢献等の問題が指摘されている。今年度は、それら問題についてもアプローチを試みることとする。

重点計画

- ①人材育成・研修体制の確立
- ②共同生活援助事業（グループホーム）の増設
- ③就労支援事業の安定
- ④コンプライアンス及び業務管理体制の強化
- ⑤防災体制強化
- ⑥地域福祉貢献活動の創出

社会福祉法人山形県コロニー協会
平成25年度 事業報告

平成25年4月1日から、これまでの障害者自立支援法から、障害者総合支援法)が施行された。また、本年2月には国連障害者の権利条約の日本における批准が完了した。批准までの間、関係国内法が整備され、国際障害者年を契機としたノーマライゼーション思想が、具体的な条約として明文化されることになった。

当法人では、平成18年に山形福祉工場を新事業体系に移行してから、積極的に事業展開を行ってきた。現在、障害者相談支援事業、一般就労移行支援事業、障害者就労継続支援事業A・B型、障害者グループホーム(以下、G.H.)、障害者福祉ホーム(以下福祉H.)の事業を運営し、100名以上に日援事業としては、県内で最大規模となつた。

25年度は各事業の運営強化と福

祉サービス提供の充実を図るために、本部機能の強化、目的別組織編制を行つた。地域生活支援部として、相談支援事業(山形コロニー相談支援センター)と居宅部分(福祉H、G.H.)を統合した。就労移行支援事業(山形コロニー就労サポートセンター)を地域就労支援部として独立性を持たせた。B型は3月より、定員を10名増やした。

相談支援事業は、サービス受給者全員を26年度まで計画相談支援の対象者とすることから、相談支援対象者が増加し対応に追われた。これにより、住まいの場の需要が増え、現在、福祉H・G.H.はほぼ定員一杯の状況である。就労施行支援事業は開始当初から利用申込者数の問題を抱えていたが、事業に対する理解がようやく浸透し、年度末の利用申込み状況は定員を大幅度に超過している。事業目的を特化し、職員の専門性向上に努め、25年度は10名を一般就労に結び付けた。全国的に就労移行支援事業が退潮傾向のなかでは一定の成果を上げることができた。

祉サービス提供の充実を図るために、本部機能の強化、目的別組織編制を行つた。地域生活支援部として、相談支援事業(山形コロニー相談支援センタ

祉工場は、印刷事業の市場環境が厳しいなかで、消費税率アップの影響も

あり前年度並みの実績を残すことが出来た。円安の影響もあり加工高は目標値に届かなかつた。利用者数は年度末で42名で、定員を上回つて

いる。

平成26年5月23日

監事 結城 德昭
監事 伊藤 善吉

監査結果及び意見

1回目の監査において次の問題点が認められた。なお、2回目の監査において、平成25年度決算の事業報告書、決算書、決算付属明細、財産目録について適正と認めた。

記

福祉工場と就労サポートセンター、相談支援センター、コロニーハイツの経理区分間ににおいて、仮払金と未払金等に不合が認められた。原因は過去の複数年度における経理処理の誤りであり、再発防止の対策を講じられたい。

監査報告書



資 金 収 支 計 算 書

(自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)

単位:円

勘定科目	合 計	一般会計	就労支援事業会計
就労支援事業活動収入	256,251,254	0	256,251,254
就労支援事業活動支出	248,914,728	0	248,914,728
就労支援事業活動収支差額	7,336,526		7,336,526
福祉事業活動収入	208,847,633	53,157,874	155,689,759
福祉事業活動支出	189,826,991	45,804,058	144,022,933
福祉事業活動収支差額	19,020,642	7,353,816	11,666,826
施設整備等収入	608,802	500,000	108,802
施設整備等支出	25,065,040	2,527,215	22,537,825
施設整備等資金収支差額	△ 24,456,238	△ 2,027,215	△ 22,429,023
財務収入	15,606,597	362,597	15,244,000
財務支出	10,770,043	0	10,770,043
財務活動資金収支差額	4,836,554	362,597	4,473,957
当期資金収支差額	6,737,484	5,689,198	1,048,286
前期末支払資金残高	288,336,327	28,413,571	259,922,756
当期末支払資金残高	295,073,811	34,102,769	260,971,042

事 業 活 動 収 支 計 算 書

(自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)

単位:円

勘定科目	合 計	一般会計	就労支援事業会計
就労支援事業活動収入	256,251,254	0	256,251,254
就労支援事業活動支出	258,276,988	0	258,276,988
就労支援事業活動収支差額	△ 2,025,734		△ 2,025,734
福祉事業活動収入	214,075,035	49,731,670	164,343,365
福祉事業活動支出	202,599,155	49,569,909	153,029,246
福祉事業活動収支差額	11,475,880	161,761	11,314,119
事業活動外収入	7,661,306	7,611,845	49,461
事業活動外支出	7,604,757	185,484	7,419,273
事業活動外収支差額	56,549	7,426,361	△ 7,369,812
経常収支差額	9,506,695	7,588,122	1,918,573
特別収入	2,897,296	1,191,160	1,706,136
特別支出	7,161,825	915,885	6,245,940
特別収支差額	△ 4,264,529	275,275	△ 4,539,804
当期活動収支差額	5,242,166	7,863,397	△ 2,621,231
前期末繰越活動収支差額	339,489,094	38,130,086	301,359,008
当期末繰越活動収支差額	344,731,260	45,993,483	298,737,777
その他の積立金取崩額	15,244,000	0	15,244,000
その他の積立金積立額	10,770,043	0	10,770,043
次期繰越活動収支差額	349,205,217	45,993,483	303,211,734

貸借対照表

平成26年3月31日現在

単位：円

資産の部		金額	負債の部		金額
流動資産		386,390,000	流動負債		84,116,257
固定資産		430,189,404	固定負債		51,612,964
基本財産		212,266,617	負債の部合計		135,729,221
その他の固定資産		217,922,787	純資産の部		金額
			基本金		164,628,946
			国庫補助金等特別積立金		97,497,062
			その他の積立金		69,518,958
			次期繰越活動収支差額		349,205,217
			純資産の部合計		680,850,183
資産の部合計		816,579,404	負債及び純資産の部合計		816,579,404

財産目録

平成26年3月31日現在

単位：円

資産の内訳	金額	負債の内訳	金額
資産の部		負債の部	
流動資産		流動負債	
現金預金	251,073,278	買掛金	15,333,642
受取手形	693,525	未払金	66,970,278
売掛金	33,158,712	預り金	663,159
仕掛品	4,451,800	仮受金	1,149,178
原材料	2,748,132	流動負債計	84,116,257
未収金	30,534,099	固定負債	
立替金	1,233,838	退職給与引当金	51,347,364
前払金	311,220	徴収不能引当金	265,600
仮払金	62,185,396	固定負債計	51,612,964
流動資産計	386,390,000	負債合計(2)	135,729,221
固定資産		差引純資産(3)=(1)-(2)	680,850,183
基本財産			
建物	212,266,617		
その他の固定資産			
建物	29,088,744		
構築物	19,173,043		
機械及び装置	32,391,005		
車輌運搬具	5,611,579		
器具及び備品	9,033,384		
ソフトウェア	1,299,010		
投資有価証券	25,000		
人件費積立預金	38,000,000		
修繕積立預金	4,576,153		
備品等購入積立預金	22,947,805		
工賃変動積立預金	3,995,000		
その他の積立預金	51,347,364		
その他の固定資産	434,700		
固定資産計	430,189,404		
資産合計(1)	816,579,404		

職員・利用者の動き

(平成26年2月～9月)

● 山形福祉工場（A型利用者採用）

利用者採用	アティカリ玲音	4月1日
嘱託利用者退職	土屋 和夫	7月31日
利用者定年退職（3月31日）	3名（4月1日嘱託再雇用）	
臨時職員採用（看護師）	佐藤美栄子	4月1日
職員定年退職（3月31日）	1名（4月1日嘱託再雇用）	
異動	三沢美枝子（厨房パート）	
職員採用	金枝 永子	4月1日 GH世話人へ
職員採用	早坂 牧子	8月1日
就労サポートセンター	須藤ゆかり	3月31日
職員採用	城戸 口陽子	4月1日
職員採用	山田 成実	4月11日
職員採用	佐藤 明美	4月11日
就労サポートセンター	佐々木 美由紀	5月1日
利用開始	利用開始	利用開始
退所	退所	退所

● 放課後等デイサービスシード (4月1日開所)

職員採用	會田 雅江	5月19日
利用開始（契約）	15名	
コロニーハイツ	2名（内1名GHへ）	
利用開始	2名（内1名GHへ）	

● 法人本部

3月29日	第211回理事会・第40回評議員会（予算）
4月3日	辞令交付
4月30日	苦情解決委員合同会議①
5月14日	監事監査
5月24日	第212・213回理事会・第41回評議員会（役員改選）
6月26日	後援会総会
8月26日	村山総合支庁実地指導（B型・GH・児童デイ）
8月28日	苦情解決委員合同会議② 虐待防止委員会②

行 事

events

協 会（全体）

5月8日	総合防災訓練①
6月19日	定期健康診断
9月3日	ハイツ夜間避難訓練
9月12日	アビリンピックやまがた2014

● 就労サポートセンター

6月24日	和食レストラン①
7月25日	宿泊訓練
8月9日	研修旅行
	ファーム収穫祭

● コロニーセンター

6月6日	他研修旅行
8月9日	ファーム収穫祭



▲後援会総会

ゼンコロ関係参加

4月16日～18日	第3回事業部会・第19回運営委員会
6月5日	第63回理事会
6月19～20日	第2回印刷事業担当者研修会
7月3～4日	第20回運営委員会・第4回事業部会